



発行者:馬路町自治会 亀岡市馬路町流川2-1 (TEL:0771-22-0661) ホームページ <https://umaji-cho.com> 印刷:(株)天声社

# 標語看板リニューアル

令和5年3月5日(日)に馬路生涯学習センター前「標語看板」リニューアルのお披露目・除幕式を行いました。

昨年10月から約2か月間、町民の皆様より看板向け標語の応募を多数頂き、12月に自治会議員・青少年育成協議会役員による標語選出を行い、今年1月には標語看板担当委員を中心に、「看板デザイン」は印刷業者様からのアドバイスも頂きながら協議を積み重ね、決定にいたりしました。また、「看板枠組み」の作製業者様からは、看板が見えやすいように看板枠を高くするほうが良いのではないかとのお言葉を頂く中、より良い看板を作るために以前の枠組みを使用しながら、改良して頂き、2月中の完成を迎えることが出来ました。さらに、お披露目のメインとなる除幕については、試行錯誤の中、手間をかけずに確実性のある方法を取り、本番では上手く除幕することが出来ました。お披露目・除幕式には、標語作者様・各区分長様・関係業者様・自治会議員・青少年育成協議会役員など、多くの方の出席を頂きました。



最後になりましたが、「看板リニューアル」に向けては、町民の皆様よりご支援を頂きましたことに対して、感謝申し上げます。今後、標語看板が少しでも「馬路町の取り組み」の手助けになればと思っています。多くの皆様にご協力頂き有難うございました。

(名倉雅之)



編集委員長 中川 中澤 中澤 中川 浅田 河原 孝子  
副委員長 中川 中澤 中川 浅田 河原 孝子  
委員 中川 中澤 中川 浅田 河原 孝子  
委員 中川 中澤 中川 浅田 河原 孝子  
委員 中川 中澤 中川 浅田 河原 孝子  
委員 中川 中澤 中川 浅田 河原 孝子

**編集後記**  
今年度、初回の自治会だよりの発行です。今後は町内の定例行事の報告だけでなく町民の皆様に興味を持って頂けるような記事にしたいと思っています。馬路町や川東地域の珍しいニュースなど伝えない情報が掲載出来たらと思っています。皆様からの情報や写真などありましたら投稿して下さい。

# 平の沢トレイルバージョンアップ

池尻区の寺山に延長の散策道をつくりました。平の沢公園ロードパークから平の沢トレイル看板を目安に中池の遊歩道を通り呉弥山に向けて起伏に富んだ山道を歩くことで足腰の筋肉を鍛えられます。有酸素運動、健康維持やダイエットにも効果的です。自然を捉える五感、歩く力、危機回避能力なども身につきます。木々からのマイナスイオンもたっぷり浴びてください。ぜひ、展望台まで脚を運び、おにぎりを食べて四季折々、田園地帯の変化に富んだ景観を堪能してください。(中川俊和)

# 保育園児のじゃがいも植え

営農組合の皆さんにお誘いいただき3月22日に3・4歳の子供たちがじゃがいも植えを体験させて頂きました。「切り口を下にしてうるんやで」と優しく教えていただき、最初は恐る恐る作業していましたが進めていくうちに手際よく植えられるようになりました。「大きなあ〜れ」とおまじないしながら収穫を楽しみにしている子供たち。畑が少しぬかるんでいましたが、土と親しみ楽しい時間を過ごさせて頂きました。(保育所より)



# 今後の行事予定 (5月~8月)

- 5月19日(金) 第1回馬路ふれあいサロン
- 5月21日(日) 体振ふれあいソフトボール大会
- 6月16日(金) 川東地区人権啓発推進協議会総会
- 6月18日(日) 第8回町民グラウンドゴルフ大会
- 7月~8月(未定) 亀岡市との地域こん談会
- 7月21日(金) 第2回馬路ふれあいサロン
- 8月25日(金) 町民大運動会実行委員会

**あいさつ 自治会長 中川 徹**  
目に鮮やかな新緑の頃となりました。皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、馬路町自治会活動に深いご理解とお力添えをいただいております。ことに心より御礼申し上げます。令和5年度、新年度が始まりました。長かった新型コロナウイルスの新規感染者数や病床使用率も落ち着きを感じられ、ようやく収束の方向にむかいつつあります。政府は、感染法上の位置づけを5月8日からインフルエンザと同等の5類に移行することやマスクの着用も自己判断にゆだねると発表しています。ようやくアフターコロナの生活が迎えられるのかと思うと感慨深いものがあります。こういった状況の中で、令和5年度自治会運営方針については、基本的には、新型コロナウイルス感染症状況に配慮しながら恒例の行事等を行うことを検討しています。また、令和5年度の事業として亀岡市においても「子どもファースト」宣言がされておりますが、馬路町においても、「子育てしやすいまちづくり」をめざし、安心して子育てができる環境づくりとして、北区の広場に幼児向け遊具の設置を計画しています。

「空き家バンク」とは、空き家の所有者と空き家を探している人をつなぐ制度です。「空き家バンク」に登録することにより、物件に係る情報の提供を行い空き家の利活用の促進を図るものです。空き家バンクに登録していただくことで、亀岡市から補助金が受けられることもあります。詳しくは、馬路町自治会へお尋ねください。  
**「馬路町では空き家バンク(亀岡市)への登録を勧めています。」**

**まちの教科書 編集を終えて**  
令和4年2月 私たち川東地区住民にとりましては悲願であった「新しい宇津根大橋」が完成。歩行者の方、自転車の方、自動車の方みんなが何の気づかいもなく普通に通れる事に對し、そのありがたさを、今でも通るたびに感じます。現状亀岡市への移住希望者が400名以上おられ、その中でも交通、インフラ整備が進む川東地区への移住希望が最も多いとのこと。令和3年4月以降の自治会議員会議におきましても、移住希望者向「まちの手引書」作成の必要性が論じられ、ようやく令和4年8月より編集作業をスタートさせました。掲載記事は基本的内容ではありますが多岐にわたり、関係の皆さま宅にお伺いしたり、電話確認させていただいたり、議員事務局一同も慣れぬ事にてバタバタの連続でありましたが、正・副区分長様、各種団体様、まちの皆さま方のご協力のお陰で発刊する事ができました。誠にありがとうございます。「まちの教科書」が、新規移住希望者受入れの呼び水となり、安心・安全で元気なまちづくりに一翼を担ってくれる事を願っております。(中澤和洋)

